

速 報

各関係機関の長 殿

福岡県病害虫防除所長

平成16年度病害虫発生予察速報第5号について

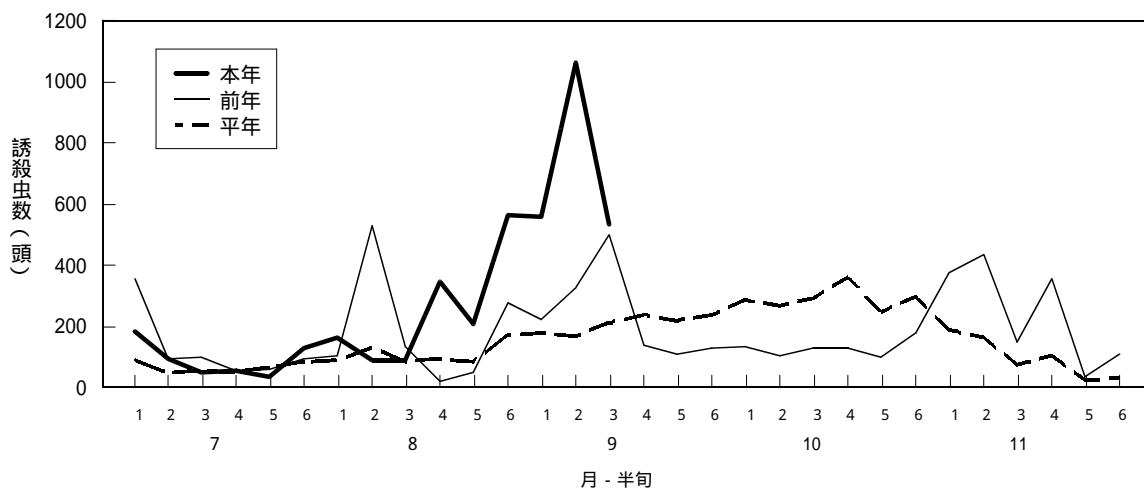
このことについて、以下のとおり送付します。

平成16年度病害虫発生予察速報第5号

- 1 対象作物 野菜・花き類
- 2 病害虫名 ハスモンヨトウ
- 3 発生状況

8月下旬から9月上旬のフェロモントラップでのハスモンヨトウの誘殺虫数が増加し、平年・前年を大きく上回っている。

今後、野菜や花き類の被害が予想されるので、卵塊やふ化直後の幼虫の発生状況に注意する。



ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺虫数の推移（筑紫野市）

武田式乾式トラップ

4 防除上注意すべき事項

- (1) ふ化直後の 1 令幼虫は集団で葉を食害し、その後周囲に分散するので、初期の食害発生に注意し、卵塊や 1 令幼虫は見つけしだい捕殺する。
- (2) 施設栽培ではビニルや防虫ネット、鉄骨などに卵塊を産みつけていることがあるので注意する。
- (3) 老齢幼虫に対しては薬剤の効果が高いので、早期発見に努め若齢幼虫の防除を徹底する。
- (4) トマトやナスなど、作物によっては葉以外に花蕾や果実を食害する場合がありますので、注意する。
- (5) ほ場周辺の雑草は増殖源になるので、除草を徹底する。
- (6) 防除薬剤は作物への登録状況を確認し使用する。また苗類については、薬害に注意する。